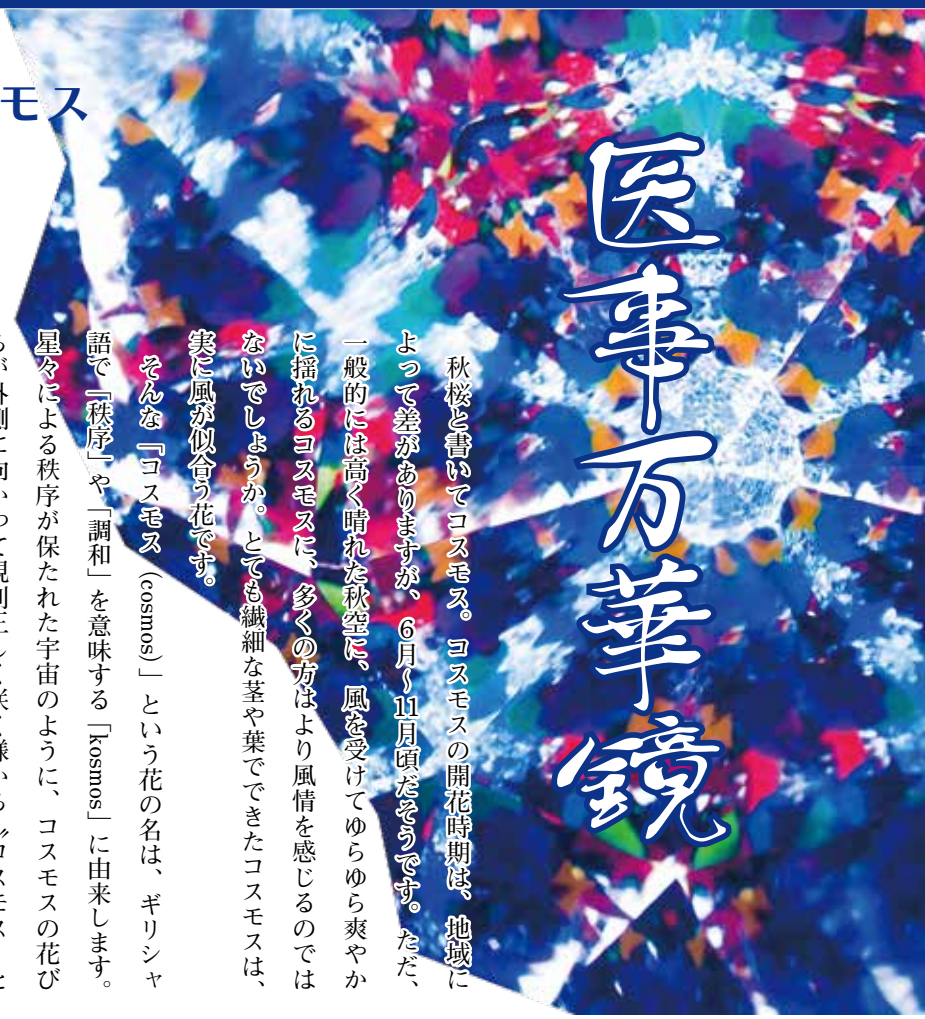
46．風に揺らめくコスモス



秋桜と書いてコスモス。コスモスの開花時期は、地域によって差がありますが、6月～11月頃だそうです。ただ、一般的には高く晴れた秋空に、風を受けてゆらゆら爽やかに揺れるコスモスに、多くの方はより風情を感じるのではないでしょうか。とても繊細な茎や葉でできたコスモスは、実に風が似合う花です。

そんな「コスモス（cosmos）」という花の名は、ギリシャ語で「秩序」や「調和」を意味する「kosmos」に由来します。星々による秩序が保たれた宇宙のように、コスモスの花びらが外側に向かって規則正しく咲く様から〝コスモス〟と名付けられたそうです。たとえ風を受け揺れていても、コスモスは「コスモス（秩序・調和）」なのでしょう。また、cosmosは英語で宇宙を意味します。神によって創造された宇宙には何らかの数的な秩序があるのではないかと考えた哲学者のピタゴラスが、宇宙を「cosmos」と表現したのが始まりだそうです。とすれば、コスモスという花は、秩序・調和を表すと同時に、壮大な宇宙を内に宿した花であるとも解釈できそうです。

ちなみに、宇宙のことは他にはuniverseとも言います。両者の違いは、〝universe〟が地球も含めた「宇宙空間全体」を表すのに対し、〝cosmos〟は、「秩序ある調和のとれた宇宙」という、より哲学的な意味合いを含んでいるそうです。風に揺らめくコスモスだけでなく、幾重も連なる宇宙を漂うコスモスというのも想像すると大いにロマンを感じます。

そんな調和や秩序を表す花・コスモスですが、私たちは得てして調和や秩序を乱すものはできるだけ排除したいと思うものです。人は実のところ得体のしれない刺激物よりも、退屈であったとしても安定の方を、より求める習性があるからです。ただ時として訪れるそんな〝障害物〟は、真正面から向き合えば新たな学びの機会、成長するためのチャンスにもなりえます。例えば、病気が見つかったとします。ですがそのことは全くネガティブなものというわけではなく、より健康でいられるよう、日頃の生活習慣を変革する大きな転機にもなりうるということです。障害をプラスに転化させるのは本人次第で、どんなことであっても真摯に受け止める姿勢が大切でしょう。

秋空に映える、風にたなびく情緒溢れるコスモスは、多少の躓きでは折れない芯の強い花。コスモスのように人の心に響く、でも決して折れずに強くいられる、そんな生き方をしていきたいものです。

（ＪＭＳ主幹・野村久）